

ギカイだより



突撃
Question!
坂出市をどんな街にしたいですか?



3月定例会号 ～主な掲載内容～

平成29年度当初予算について審議しました。
➡ 2ページ

常任委員会から市長へ提言書を提出しました。
➡ 8ページ

GIKAI DAYORI contents

- 3月定例会の概要…………… 2～3
- 一般質問…………… 4～8
- 委員会から提言書を提出…………… 8
- 委員会レポート…………… 9
- 審議結果…………… 10
- 政務活動費収支報告…………… 11

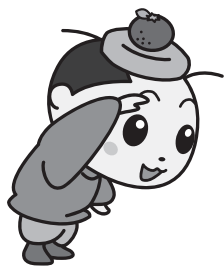
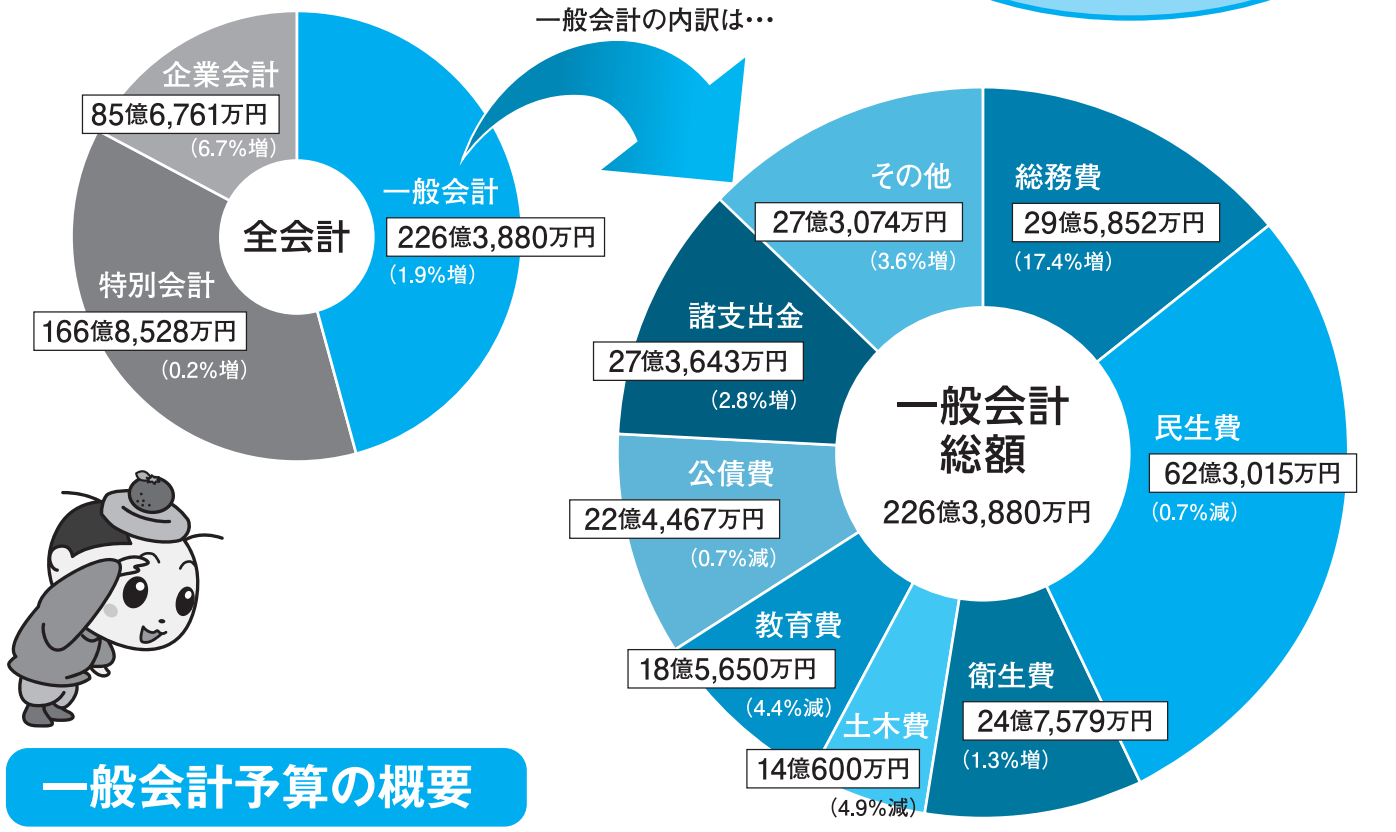
3月定例会の概要

3月定例会では、初日に市長から施政方針が示されるとともに平成29年度一般会計予算など12会計の当初予算案を初め、条例制定案2件、条例の一部改正案6件、補正予算案9件、工事請負契約の変更に関する議案1件の計30件が提案され、各常任委員会での審査を経ていずれも原案のとおり可決しました。

また、最終日には人事案件2件が追加提案され、いずれも原案のとおり可決しました。
(議案の審議結果は10ページをご覧ください。)

平成29年度
一般会計・特別会計・企業会計予算

総額
478億9,169万円を
可決



一般会計予算の概要

- ▼前年度に比べて4億2,720万円の増額予算となっています。
- ▼歳入予算では、市税全体で前年度に比べ5億2,530万円の増収が見込まれる一方で、地方消費税交付金1億8,900万円の減収、地方交付税1億2,120万円の減収が見込まれています。
- ▼歳出予算では、宿泊型野外活動施設の整備完了や、坂出北インターのフル化に向けた調査・概略設計の完了により教育費(約8,500万円)、土木費(約7,300万円)等が減となる一方、企業立地促進助成金や新庁舎の建設に係る経費等の総務費(約4億3,900万円)、坂出港や漁港の改良事業に係る経費等の港湾費(約1億1,600万円)が大幅に増となっています。

用語解説

一般会計
福祉や教育など市民のために広く使われる会計のこと

特別会計
一般会計とは別に国民健康保険事業や下水道事業など、特定の目的のために使われる会計のこと

企業会計
水道事業や病院事業のように利用者が負担する経費(水道料金や診察料)によって運営される会計のこと

財政調整基金
年度間の財源の不均衡を調整するために積み立てる基金、市の貯金のようなもの



主な議案を ピックアップ Pick up



住民票、戸籍、印鑑登録証明書などが 全国のコンビニで取得可能に

坂出市印鑑条例の一部を改正する条例 一般会計予算 642万円

本年4月から、マイナンバーカードを利用して全国のコンビニエンスストアで住民票などの証明書を取得できるようになりました。

市役所の開庁時間に関わらず、休日(年末年始除く)や早朝・夜間(午後11時から翌朝6時半を除く)でも取得可能ですので、通勤時や休日のお出かけの際にもご利用いただけます。

取得できるもの

※それぞれ手数料がかかります。

- 住民票の写し
- 印鑑登録証明書
- 戸籍
- 戸籍の附票
- 所得課税証明書

取得に必要なもの

- マイナンバーカード

対象店舗

※一部取得できない店舗もあります。

- セブン-イレブン
- ローソン
- ファミリーマート
- サークルKサンクス
- ミニストップ など

利用可能時間帯

- 午前6時30分～午後11時

補正概要

総務費

庁舎建設基金積立金 2億円

庁舎建設費用の半分程度を目標として、基金に積み立て。

ふるさと坂出応援寄付業務委託料 1,710万円

ふるさと坂出応援寄付(ふるさと納税)の件数が年度当初の見込みを上回ったことによる増額。

民生費

保育所等業務効率化推進事業補助金 400万円

私立保育所に対し、保育業務支援システム導入経費について補助金を交付。



Q & A 一般質問

一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めるために行うものです。
3月定例会でのみ所属3人以上の会派が代表質問(時間50分)を行うことができます。今定例会では2会派が代表質問を行い、5名の議員が個人質問(時間30分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4～5ページ、個人質問は6～8ページに掲載しています)

代表質問

大前寛乗 議員
市民グループ未来の会



新庁舎建設における具体的な
工事内容とスケジュールは

Q 平成32年度の新庁舎竣工に向け、平成29年度予算には約1億4,000万円が計上されているが、今後の具体的な工事内容とスケジュールは。

A 平成29年7月から9月にかけて南倉庫等を解体し、同年10月から平成30年2月末にかけて東館南側に新倉庫棟の建設等を行います。続いて、平成30年4月から8月末までに北館等の解体を行い、同年9月から平成32年4月中旬までの新庁舎建設期間を経て、ゴールデンウィーク明けより新庁舎での執務を開始する予定です。

その後、平成32年8月までに旧庁舎を解体し、同年9月から11月までの期間で、回廊整備、駐車場等の舗装を行い、すべての工事が完了する予定です。
(副市長)



他の地区でも備蓄倉庫を
整備する計画はあるのか

Q 旧坂出東部有線事務所を改修して備蓄倉庫を整備し、防災体制の向上を図るとあるが、当該倉庫にはどのようなものを備蓄するのか。また、他の地区にも備蓄倉庫を整備する計画はあるのか。

A 現在、「香川県地震・津波被害想定」に基づき、必要とされる食料や毛布、その他の物資を各指定避難所及び教育会館北側の防災倉庫に備蓄していますが、必要量のすべてを保管するには手狭となってきたため、当該倉庫を整備し、備蓄する予定です。さらに、新庁舎内にも備蓄倉庫の設置を予定しており、当面の備蓄計画には対応できるものと考えています。

今後、食料及び生活物資を発生直後から迅速確実かつ円滑に供給できるよう、備蓄物資の確保等に努めていきます。
(総務部長)



部落差別解消に向けての
今後の取り組みは

Q 平成28年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布、施行された。部落差別を解消するには、部落をなくすのではなく、部落差別をなくすという考え方が重要になってくるが、当該法律に対する市長の基本認識と部落差別解消に向けた今後の取り組みは。

A 当該法律には、部落差別が許されないものであることが明示されており、部落差別が解消されるまで同和行政を推進していく法的根拠となるものと認識しています。

本市は、平成25年に「坂出市人権尊重のまちづくり条例」を制定し、すべての人の人権が尊重される社会の実現に向け、鋭意取り組んでいます。今後も関係機関等との連携強化を図り、相談体制の充実と効果的な教育・啓発に努めるとともに、この取り組みを人権にかかわるすべての問題解決に繋げ、人権尊重のまちづくりを積極的に推進していきたいと考えています。
(市長)

質問の項目
・市長の政治姿勢について
・ランドデザインについて
・中小企業振興施策について
・健康都市について

代表質問

吉田 耕一 議員
新政会

新政会



地域防災力向上に向けた 取り組みの状況は

Q 大規模災害時には、自主防災組織の役割が非常に大きいですが、市として自主防災組織に望むことは。

A 訓練を通じて、地域の方々との信頼関係を築くとともに、組織同士の連携体制を構築していただくことが重要と考えています。また、中心的役割を担う防災士の養成にも努めていただきたいと考えています。今後も自主防災組織の活動を様々な面から支援していきます。(副市長)

Q 臨港線跡地の遊歩道のように既存の公園に防災機能を付加してはどうか。

A 市内の公園は、立地や規模が様々ですが、地域防災計画を踏まえ、遊具等の改修の際にはソーラー照明灯、かまどベンチ等の設置についても検討していきます。(副市長)



県道富士見町線の拡幅に あたり、交通安全の確保を

Q 現在、県道富士見町線の拡幅が進んでいるが、拡幅に伴い大きな交差点となる県道33号線交差点付近の安全確保はどのように考えているのか。

A 詳細については現時点では明示されていませんが、当該交差点に接続する狭い市道文明町線から車両が進入することは交通事故を誘発する危険性があるため、文明町線を現在と逆の北向き一方通行に変更することも検討されているようです。変更による周辺住民への影響は大きいことから、関係機関と連携し、注意喚起を促す路面標示などの整備に努めていきます。(市民生活部長)



学校給食の自校方式から センター方式への転換を

Q 給食センターを建設し、現在の自校方式からセンター方式へ転換することで、人件費などの経費が削減され、給食費を増額することなく、内容の充実が図れるのでは。

A 自校方式には、児童が調理員を身近に感じることができ、食育の面で効果的であることや、調理中の匂いによる食欲増進などのメリットがある一方で、設備の老朽化による維持管理費の増加や、調理員の確保に苦慮しているといった課題もあることから、センター方式の導入を検討すべき時期が来ていると感じています。

今後、近隣他市の状況も参考に、学校給食のあり方を検討していきます。(教育部長)

質問の 主な項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・まちづくり基本構想のさらなる推進について
- ・健康で安心して暮らせるまちづくりについて
- ・快適な都市環境を実感できるまちづくりについて

いっしょに考えていきませんか わたしたちのまちのこと

ギカイを **観** る

本会議、委員会のご自由に傍聴いただけます。また、お体のご不自由な方も車いすのままで傍聴できますので、お気軽にお越しください。

ギカイを **読** む

本会議での質問や答弁などの発言は、毎回、会議録にまとめられ、図書館または市議会ホームページから自由にご覧いただけます。ぜひご利用ください。

ギカイを **視** る **聴** く

一般質問の模様に関しては、ケーブルテレビ(KBN)の生放送とインターネット配信(録画)でご覧いただけます。配信映像は市議会ホームページからご利用ください。

一般質問

齊藤 義明 議員
市民の声



市民ホールの早期改修を

Q 市民ホールは耐震基準を満たしているものの、客席上部の吊り天井は老朽化による落下の危険性が危惧されており、その他建物本体・付属機器等についても機能不十分等が指摘されている。応急的な措置を講じるとともに、早期の改修を求める。

A 市民ホールの改修については、施設全体が地上より低い位置にあるため底上げする必要がありませんが、その場合、客席が狭まり、キャパシティが現在の半分程度になってしまうという問題があります。

今後、人工土地全体の課題と併せ、当該施設をどうしていくか検討していきます。
(市長)

配置基準の見直しによる
保育士の負担軽減を

Q 配置基準に従って保育士の必要人数を計算する際、小数点以下についてはどのような取扱いをしているのか。

A 各年齢区分の入所児童数を保育士の配置基準となる児童数で除したものを合計し、さらに各種加配等を加えた後、最終的に小数点以下は四捨五入することになります。
(健康福祉部長)

Q 小数点以下が4か5かで保育士の人数が変わるのはいかがなものか。全て切り上げにし、保育士の負担軽減を図るべきである。

A 国において定められている基準によって計算した後、各種加配等を加え、十分に基準を満たすよう保育士を配置していますので、ご理解いただければと思います。
(健康福祉部長)

質問の
主な項目

- ・ 公共施設等総合管理計画について
- ・ 他市等と連携した観光施策について
- ・ 認定こども園について

出田 泰三 議員
市民の声



にぎわい創出事業の
さらなる充実を

Q 市民自身が企画・運営を担いまちづくりに参画するにぎわい創出事業は、市民共働の具現化と考える。応募団体も増加する中で事業のさらなる充実を図る考えは。

A にぎわい創出事業補助金の額については、審査会において各イベントを実施するに当たり妥当と思われる金額を設定しています。

当該事業は、新規または既存事業を拡大、発展する場合に補助するものですが、毎年開催すべきものについては別途補助事業として継続的に実施できるよう対応していきます。

いずれにしても、当該補助金の総額や、各団体への適切な補助額について、申請状況も勘案しながら検討していきます。
(建設経済部長)

質問の
主な項目

- ・ 若者や女性が活躍できるまちづくりを
- ・ 新年度予算について
- ・ 健康づくりについて

鎌田池周辺の桜の保存を

Q 鎌田池周辺は本市有数の桜の名所であるが、老木が多く傷んでいるものも見られ、地域からは保存を望む声が挙がっている。一方で、ため池の保護の観点から、堤防への植栽は適切ではないとも言われているが、本市の考えは。

A 県条例で、堤防への植栽は禁止されていることから、新たに植えることは困難です。一方で、既存の桜を撤去した場合、堤防内の根が腐り、空洞に水が流れ込むことのでかかって堤防の強度を下げってしまう恐れがあるので、引き続き堤防の状態に注意しながら現状を維持していきたいと考えています。
(建設経済部長)



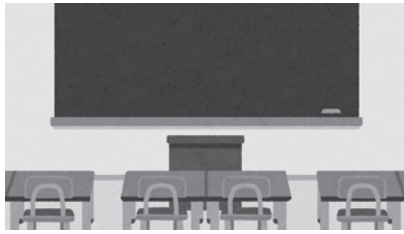
脇 芳美 議員
新緑

新緑



教員の負担軽減のため、校務支援員を配置する考えは

Q OECDの調査では、日本の中学校教員の勤務時間が最長であった。校務支援員を配置し、負担軽減を図ることは教育の充実につながるかと考えるが、配置する考えは。



A 校務支援員の配置については、期間が限定されていることや、全ての学校への配置が困難であることから、制度の利用を見送ることとしました。教員の負担軽減策としては、校務支援システムの整備などの業務改善や、スクールソーシャルワーカー、特別支援教育支援員等教員以外の人員を配置し、サポート体制を充実することで対応していきます。
(教育長)

カヌー競技場のポテンシャルを生かすため、トレーニング施設の新設を

Q 府中湖カヌー競技場は平水面で1,000メートルのコースを有するなど、全国屈指の環境であるが、選手の育成強化や国内外の選手受け入れのためには施設の新設が必要ではないか。

A 2020年東京五輪の事前合宿誘致を見据え、平成27年度より、トレーニング機器の充実を図っているところですが、十分なスペースが確保できていない状態です。平成29年度は新たなトレーニングセンターの建設や、カヌー研修場の改修に向けた設計業務を予定しています。

また、2022年には全国高等学校体育大会が四国で開催予定であり、カヌー競技の会場として本市が有力であることから、引き続き競技場全般にわたり整備・改修を進めて行きます。
(教育部長)

質問の主な項目
・耕作放棄地の解消について
・市内の駅周辺の駐輪場について
・緩衝緑地帯について

野角 満昭 議員
日本共産党議員会



アートでまちおこしによる成果は

Q 施政方針で平成29年度においてもアートでまちおこしを推進するとしているが、市民参加と交流人口拡大という点から見たこれまでの成果は。

A 平成28年度は瀬戸内国際芸術祭をはじめ、芸術をテーマとしたイベントを切れ間なく実施しました。瀬戸フィルハーモニー交響楽団のクリスマスコンサートやアンドロイド演劇については、市外からの来場者の割合が高く、交流人口の拡大が図れたと考えています。

市民参加という面においては、これらのイベントが盛況であったのも、にぎわい創出事業を契機とした市民共働によるアートプロジェクトなどの多彩な芸術イベントが行われてきたことや坂出高校音楽科から多くの人材を輩出してきた基盤があったからこそと考えています。
(建設経済部長)



部落差別解消推進法の乱用による内心の自由等の侵害が懸念されるが

Q 部落差別解消推進法が乱用されるようなことがあれば、行政を歪め、内心の自由や表現の自由が侵害される危険性があるという問題点が指摘されているが、これに対する見解は。

A 当該法律には、人権課題における人権侵害行為を法的に規制する内容は含まれていません。課題の解決に向けた理念を整備したことで、課題に対する国民の理解を深めることに繋がるとともに、人権擁護に向けた大きな前進であると認識しており、ご指摘の問題点は存在しないものと認識しています。

また、ヘイトスピーチ解消法と同様に、「部落差別は許されないこと」を明確にし、今後法務省から何らかの情報提供があるのではないかと考えており、市民の同和問題に対する正しい理解が深まるよう啓発に努めていきます。
(市民生活部長)

質問の主な項目
・施政方針について
・マイナンバー制度について
・四国新幹線導入について

山条 忠文 議員
改進黨の会



新庁舎建設に当たり、
公共施設等適正管理推進
事業債の活用を

Q 昨年の熊本地震で市庁舎等への被害が大きかったことを受け、今般、国において、公共施設等最適化事業費が公共施設等適正管理推進事業費に拡充され、耐震化未実施の本庁舎の建てかえ等が対象となった。その中で規定されている公共施設等適正管理推進事業債について、本市の新庁舎建設に当たり活用する考えは無いか。

A 当該事業債について、現時点では詳細な内容が示されていませんが、他の事業債よりも非常に有利な起債となっていることから、国の動向を注視し、事業要件を満たす場合には積極的に活用していきたいと考えています。
(総務部長)

空き家条例制定の見通しは

Q 空き家条例の制定に向け実態調査を行ったが、その結果は。

A 本市における空き家は約2,200軒であり、倒壊等の恐れのある危険な空き家は約100軒となっています。
(市民生活部長)

Q 条例の制定時期はいつになる見通しか。

A 全国的にも約半数の自治体が制定済または制定予定であり、県内でも8市のうち5市が制定済となっています。

今後、実態調査の結果を検証し、様々な空き家対策に反映していくとともに、平成29年度中の制定を目指し、検討していきます。
(市民生活部長)



質問の項目

- 交通安全対策について
- 養護老人ホームの今後のあり方について
- 公共下水道事業継続の問題について

各常任委員会から市長に提言書を提出

議会では、坂出市議会基本条例に基づきそれぞれの常任委員会において年間のテーマを設定し、これまで1年間をかけて、先進市への行政視察や、市民要望・提案を吸収し、市政に反映させることを目的とした各種団体との意見交換会、執行部の取り組み状況の把握など調査研究を行ってきました。それらの活動の集大成として、本市の課題に関する提言書を取りまとめ、市長へ提出しました。

総務消防委員会

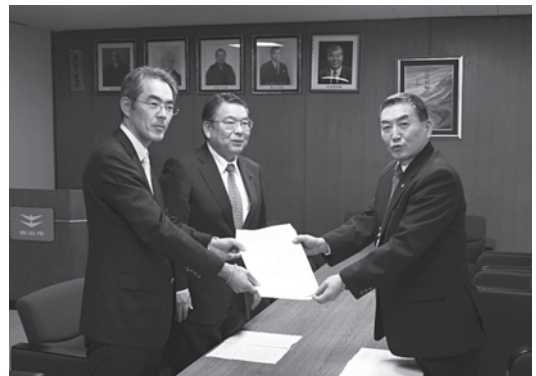
自主防災組織に関して、近い将来に発生が予想される南海トラフ大地震に備え、市民の防災意識の醸成、リーダーの育成、自主防災組織への支援を充実することなどを提言しました。

教育民生委員会

幼児教育に関して、食育の観点から市立幼稚園での給食の実施や、職員の配置について、必要に応じて職員を加配することなどを提言しました。

市民建設委員会

さかいでブランドに関して、知名度向上のため、認定基準を見直すとともに、活発なPRや販路拡大に向けた取り組みを推進することなどを提言しました。



●具体的な提言内容は、市議会ホームページからご覧いただけます。

委員会 レポート Report

付託議案
18件

教育民生 委員会

全議案全会一致で可決



宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」がオープン

廃校となっていた旧王越小学校が改修され、宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」がオープンしました。

Q 具体的に場所が分からない人も多いと思う。看板等を設置する考えは。

A 進入路の入口に看板を設置しています。また、近くのバス停の名称変更も申請しているほか、色々な機会を通じて周知していきます。

要望

空調が一部の部屋にしかないが、冬などは寒い
ため、利用者が年間を通じて快適に利用できる
よう、廊下も含めて全館に空調を完備すべき。



3月定例会の日程

3月 2日	本会議	施政方針、提案説明
3月 8日	本会議	一般質問(代表・個人)
3月 9日	本会議	一般質問(個人)
3月10日	本会議 委員会	議案質疑・委員会付託 議会運営委員会の調査
3月13日	委員会	総務消防委員会の審査
3月14日	委員会	教育民生委員会の審査
3月15日	委員会	市民建設委員会の審査
3月24日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

付託議案
6件

総務消防 委員会

全議案全会一致で可決



新年度より新庁舎建設工事に着手します。

これまで新庁舎建設に関する基本設計、実施設計を行ってきましたが、平成32年中の完成を目指して、平成29年度より新庁舎建設工事に着手します。

Q 事業費が増大したため、当初予定していた立体駐車場を取りやめ、周辺の民間駐車場の活用を含めた平面駐車場に変更したが、来庁者の駐車スペースは十分に確保できるのか。

A 公用車を民間駐車場へと移動させることで来庁者用駐車スペースを確保していますが、建設工事が進むにつれ不足することも見込まれます。必要に応じて民間駐車場のさらなる確保も検討していきます。

Q 市立病院建設の際は2度入札不調となった。新庁舎建設に際して入札不調を防止する方策は検討しているのか。

A 当時の状況を参考にして、実施設計段階から様々な検討を行っており、スムーズに入札が進むよう一定の配慮ができていていると考えています。

付託議案
10件

市民建設 委員会

議案第52号及び議案第63号については
採決により可決、その他は全て全会一致で可決

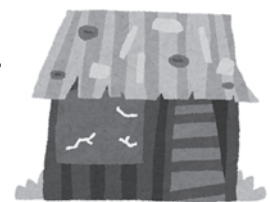


空家等実態調査の結果について報告がありました。

本市が定めた7項目の空き家判定基準により、市内に存する建築物を対象に外観目視による調査を実施しました。

その結果、市内43,105件の建物のうち2,177件が空き家との判定を受け※、なかでも老朽度・危険度が特に高い空き家は34件で全体の1.6%でした。

また、市中心部においては、空き家件数は多いものの、その1/3が目立った損傷もなく、老朽度・危険度ともに低いと判定されました。



※本調査は本市の基準により行ったものであり、調査結果が必ずしも現状と合致しているとは限りません。

平成29年 3月定例会の審議結果

議員数=20名 表決参加議員数=19名
※議長は表決には加わりません。



市長提出議案

議案第52号 平成29年度坂出市一般会計予算(案)

原案可決に 賛成

植原 泰、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斉藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、前川昌也、植條敬介、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛兼、山条忠文、東山光徳

原案可決に 反対

脇 芳美、野角満昭

賛成意見(要旨) 同和対策事業について、運動団体は行政と地区住民との重要な橋渡し役として、さまざまな同和問題の解決に寄与している。マイナンバーカードについて、今後さまざまな機能が付加されることで、市民サービスの向上につながる。

反対意見(要旨) ごみ処理手数料有料化事業(野角議員)、同和対策事業(脇議員、野角議員)、マイナンバーに関する事業(野角議員)について反対である。



市長提出議案

議案第61号 平成29年度坂出市後期高齢者医療特別会計予算(案)

原案可決に 賛成

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斉藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、前川昌也、植條敬介、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛兼、山条忠文、東山光徳

原案可決に 反対

野角満昭



市長提出議案

議案第63号 平成29年度坂出市水道事業会計予算(案)

原案可決に 賛成

植原 泰、脇 芳美、東原 章、鳥飼年幸、若谷修治、村井孝彦、斉藤義明、出田泰三、茨 智仁、大藤匡文、前川昌也、植條敬介、松成国宏、楠井常夫、吉田耕一、大前寛兼、山条忠文、東山光徳

原案可決に 反対

野角満昭

反対意見(要旨) 香川県広域水道事業団設立準備協議会の事業者負担金について反対である。

全議員が賛成した議案(可決・同意)

市長提出議案

予算

平成29年度坂出市国民健康保険特別会計予算案など 18件

条例

坂出市職員の退職管理に関する条例制定など 8件

その他

工事請負契約の変更についてなど 3件

議案内容等の詳細は、坂出市議会ホームページ【議案内容等・審議結果】をご覧ください。

3月定例会で同意した人事案件【敬称略】

◎坂出市監査委員

稲田 茂樹

◎坂出市固定資産評価審査委員会委員

野田 邦男 今池 良雄 井上 末廣

全国から 坂出に!!

北陸地方 3

東北地方 6

関東地方 6

東海地方 3

関西地方 5

九州・沖縄地方 4

中国地方 3

●平成28年度は30団体が来庁

本市の施策を調査・研究するために、全国各地の議会が本市を訪れています。1月1日から3月31日に来庁された6議会を掲載しています。

1月26日	福島県福島市	にぎわい創出事業について
2月 2日	愛知県岡崎市	市民後見人制度について
8日	沖縄県沖縄市	市民後見人制度について
8日	千葉県八千代市	さかいでブランドについて
15日	新潟県五泉市	算数・数学オリンピックについて
16日	福岡県春日市	市民後見人制度について

主な項目	件数
1. 市民後見人制度	8件
2. 地域公共交通について	5件
3. 認知症初期集中支援制度	3件
3. さかいでブランド認定制度	3件

平成28年度 政務活動費 収支報告

最近話題の
政務活動費ってなに？

政務活動費とは、地方自治法に基づき、市長が議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付するものです。その交付額や交付対象については坂出市議会政務活動費の交付に関する条例で定めており、各会派に対し所属議員1人当たり年額25万円を交付しています。



(単位 円)

会派名	市民グループ 未来の会	新政会	公明党 議員会	市民の声	改進の会	日本共産党 議員会	新緑	市民と共に
会派人数	8人	4人	2人	2人	1人	1人	1人	1人
交付額	2,000,000	1,000,000	500,000	500,000	250,000	250,000	250,000	250,000
使 途 の 内 訳	調査研究費	0	0	0	0	0	0	0
	研修費	39,320	0	109,548	406,352	0	0	228,000
	会議費	0	0	0	0	0	0	0
	調査旅費	1,147,470	477,766	0	44,200	0	0	22,000
	要請・陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	25,000	18,164	0	0	0	0
	広報費	0	0	0	0	0	250,000	0
	広聴費	0	0	0	0	0	0	0
人件費	0	0	0	0	0	0	0	
残額(払戻)	813,210	497,234	372,288	49,448	250,000	0	250,000	0

※平成29年3月31日現在の会派について掲載しています。

ちょっと
気になる

政務活動費 って、どんなことに使えるの？

会派が行う調査研究、研修、各種会議への参加、広報、広聴、要請・陳情活動など、市政の課題や市民の意見を把握し、市政に反映するための活動等が対象になります。政党活動、後援会活動、私人としての活動のための経費等は対象となりません。

本市の平成28年度実績では、先進地視察や研修などの経費(約89.4%)、広報紙作成等の経費(約9.0%)、図書や資料等の購入などの経費(約1.6%)に使われています。

政務活動費 って、領収書は添付されてるの？

毎年度終了後に、領収書の写し等の証拠書類を添付した収支報告書を議長に提出することになっています。議長が収支報告書の内容を確認した後、市長へ収支報告書の写しを送付します。残額があった場合はすべて市長へ返還します。

平成29年度交付分から、さらなる透明性確保のため、収支報告書に加えてすべての領収書をホームページで公開します。(平成30年5月ごろ公開予定)



ほっと

さかいで NEWS!

市役所・市立病院等に、45人の新規職員が採用されました!

平成29年4月1日付で、45人の新規職員が採用されました。

4月4日から5日にかけて市内での研修では、議会についても学び、議場の見学を行いました。

これからの市政運営を担うフレッシュな新人たちに、坂出市をどんな街にしたいかを聞きました。



研修・議場見学の様子

Q 坂出市をどんな街にしたいですか? (複数回答可)

【事務職・技師】

- ・活気あふれる街に
- ・すべての人が住みやすい・住んでみたいと思う街に
- ・市民のかたに身近な市役所に
- ・市民のかたが誇りを持てる街に

【看護師・検査技師】

- ・市民のかたが健康で暮らせる街に
- ・困った人に手を差し伸べられる街に
- ・高齢者が安心して過ごせる街に



【消防士】

- ・防災の事を知ってもらい、災害に強い街に
- ・安心して暮らせる街に
- ・便利で暮らしやすい街に

【保育士・幼稚園教諭】

- ・子育てしやすい街に
- ・にぎわいのある街に
- ・地域で子供たちを見守れる街に
- ・子供たちの笑顔が輝く街に

紙面の都合で、一部の抜粋のみの掲載となりましたが、早くも職員としての自覚に満ちていて、自身の業務に関連したビジョンを持たれているようでした。これからの活躍に期待しています。

編集後記

公職選挙法の改正により、投票権が18歳に引き下げられてから、市長選としては初となる坂出市長選挙が5月7日告示、同14日投開票の日程で実施されるかもしれません。選挙となれば、2期8年ぶりの選挙戦となります。政府が投票率を上げるために導入した18歳からの投票権。前回の国政選挙ではあまり効果が無かったようですが、身近な市長選挙では効果があることを期待しています。これからの4年間、坂出市の舵取りを任せる選挙戦、多くの市民のかたに参加していただきたいと思います。(東原)

広報広聴委員会 委員長……出田泰三 副委員長……植原 泰
委員……東原 章 鳥飼年幸 茨 智仁
植條敬介 野角満昭 楠井常夫



次回開催は…

5月臨時会を5月中旬に、6月定例会を6月中旬に開催予定です。

